

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2025年6月17日
【事業年度】	第168期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
【会社名】	株式会社北洋銀行
【英訳名】	North Pacific Bank,Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役頭取 津山 博恒
【本店の所在の場所】	札幌市中央区大通西3丁目7番地
【電話番号】	(011)261-1311(代表)
【事務連絡者氏名】	常務執行役員経営企画部長 野際 斉
【最寄りの連絡場所】	札幌市中央区大通西3丁目7番地
【電話番号】	(011)261-1311(代表)
【事務連絡者氏名】	常務執行役員経営企画部長 野際 斉
【縦覧に供する場所】	株式会社北洋銀行東京支店 (東京都千代田区大手町1丁目7番2号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 証券会員制法人札幌証券取引所 (札幌市中央区南1条西5丁目14番地の1)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2024年6月26日に提出いたしました第168期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

2 サステナビリティに関する考え方及び取組

(2) 気候変動問題への取組

戦略

D. シナリオ分析

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

2【サステナビリティに関する考え方及び取組】

(2) 気候変動問題への取組

戦略

D. シナリオ分析

(訂正前)

(省略)

	移行リスク	物理的リスク
リスク事象	脱炭素社会へ移行によるマクロ経済環境の変化を通じてお客さまの財務が悪化することに伴う当行の信用リスクへの影響	洪水等の増加による当行不動産担保の毀損やお客さまの事業停滞に伴う業績悪化 洪水等の増加による当行営業店舗等の毀損を基因とした当行の損出発生
分析対象	エネルギー、ユーティリティー、鉄鋼セクター	道内事業性貸出先 当行営業店舗等(ATMを含む)
シナリオ	NGFS(注1)の「Netzero2050」「Delayed Transition」	IPCC(注2)第5次報告書におけるRCP2.6(2シナリオ)およびRCP8.5(4シナリオ)
分析期間	2050年まで	2050年まで
分析結果	信用コストの増加額：113～172億円	信用コストの増加額：最大で35億円程度 当行損出の増加額：最大で6億円程度

(注) 1. 気候変動リスク等に係る金融当局ネットワーク

2. 気候変動に関する政府間パネル

(訂正後)

(省略)

	移行リスク	物理的リスク
リスク事象	脱炭素社会へ移行によるマクロ経済環境の変化を通じてお客さまの財務が悪化することに伴う当行の信用リスクへの影響	洪水等の増加による当行不動産担保の毀損やお客さまの事業停滞に伴う業績悪化 洪水等の増加による当行営業店舗等の毀損を基因とした当行の損失発生
分析対象	エネルギー、ユーティリティー、鉄鋼セクター	道内事業性貸出先 当行営業店舗等(ATMを含む)
シナリオ	NGFS(注1)の「Netzero2050」「Delayed Transition」	IPCC(注2)第5次報告書におけるRCP2.6(2シナリオ)およびRCP8.5(4シナリオ)
分析期間	2050年まで	2050年まで
分析結果	信用コストの増加額：113～172億円	信用コストの増加額：最大で47億円 当行損失の増加額：最大で6億円程度

(注) 1. 気候変動リスク等に係る金融当局ネットワーク

2. 気候変動に関する政府間パネル